※令和３年度以前入学生用

学校番号	３２６

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

手芸品を創造的に製作し、感性豊かな服飾作品へ活用することができる資質・能力を身につけましょう。
持続可能な社会の構造の視点から生まれる様々なファッションの素材や製作にも興味をもち、意欲的に授業に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、創造的な手芸品の製作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を身に着ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	手芸およびその歴史や製作について関心をもち、創造的な手芸作品をつくろうとする意欲と態度を身につける。	手芸の美的価値や合理的な製作を目指して製作工程の課題を見出し、思考したり改善・改良したりするなどして思考を深め、自身の考えを表現している。	手芸品の製作に必要な技術を習得している。	手芸の起源や歴史的背景との関わり、表現用途に適した手芸の技法について理解している。
評価方法	授業プリント 実習レポート	授業プリント 実習レポート	実習レポート 実習製作物 実技小テスト	授業プリント 実習レポート 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4～6月	手縫いの習得	・髪飾り(シュシュ)(なみ縫い) ・基礎縫い ・刺し子手ぬぐい	○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:服飾や手芸に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:手縫いの利点や美しく仕上げ合理的に縫製する工程について思考している。 c:種々の手縫いに関する技術を身に着けている。 d:手縫いの種類や用途、和裁の文化について理解している。	授業プリント 実習レポート 実習制作物 小テスト
6～8月	ミシン縫いの技術	・巾着 ・ポーチ(ファスナー)	○ ○	○	○ ○	○ ○	a:ミシンを用いた製作に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:ミシンの調子が悪い場合やうまく縫えない場合、原因を考え解決しようとしている。 c:ミシンを用いて布製品を製作できる。 d:ミシンの各部の名称と用途を理解している。用途に応じた縫い方を理解している。	授業プリント 実習レポート 実習制作物 小テスト
8～10月	文化と手芸	・草木染 ・布の和小物	○ ○	○	○ ○	○ ○	a:日本の伝統的なテキスタイルや和小物に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:日本の伝統文化のメリットや環境に配慮された工夫について思考を深め、自身の考えを表現できる。 c:自然の草木を利用した染め物ができる。 d:環境に配慮した視点をもち草木染めや和裁の歴史を理解している。	授業プリント 実習レポート 実習制作物 小テスト
10～12月	行事と手芸	・布リース ・干支人形	○ ○	○	○ ○	○ ○	b:　季節の行事に相応しい小物を思考し、手芸作品で表現できる。 c:オーナメントなど極めて小さな細工が必要な手芸品を製作できる。 d:めざす製作物に適した布や材料、縫い方を理解している。	授業プリント 実習レポート 実習制作物

※令和３年度以前入学生用

1～2月	服飾の技法	・刺繍ハンカチ	○	○	○	○	a:刺繍の技術に興味をもっている。 b:創造的な刺繍のデザインを自分なりに思考し、表現している。 c:基本的な刺繍技術を身につけている。 d:刺繍の起源や民族衣装とのかかわりについて理解している。	授業プリント 実習レポート 実習制作物 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。